科目名	児童家庭福祉【子ども・心理】	開講キャンパス	神園
担当者	田代勝良		

開講年次	1	開講期	後期	単位数	2	必修・選択	必修

授業の概要及びねらい

児童福祉の理念、少子化対策、児童福祉の法体系と実施体制について、子どもの受動的権利を擁護するウエルフェアとしての福祉から、子どもの能動的権利を保障するウエルビーイングとしての子ども家庭福祉の在り方について考察し、理解を深めさせる。

授業の到達目標

①保育における児童家庭福祉について理解できる。
②児童福祉の理念について理解を深める。
③児童家庭福祉の史的展開について理解する。
④児童家庭福祉の法制度について理解する。
⑤児童家庭福祉の実施体制について理解する。
⑥少子化と子育て支援サービスの現状と課題について理解する。
⑦母子保健施策の現状と課題について理解する。
⑧要保護児童対策・児童虐待について理解する。

学習方法

講義

テキスト及び参考書等

新・プリマーズ「児童家庭福祉」　山縣文治／福田公教編　ミネルヴァ書房

評価基準・方法	到達目標				
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲・態度	技能・表現	評価割合%
定期試験	◎	◎			70
小テスト等					
宿題・授業外レポート					
授業態度			○		10
受講者の発表				○	10
授業への参加度			○		10
その他					
合計					100

（表中の記号　○評価する観点　◎評価の際に重視する観点）

授業計画（学習内容・キーワードとスケジュール）

第 1 週	保育における児童家庭福祉
第 2 週	児童家庭福祉とは何か
第 3 週	現代社会と児童・家庭
第 4 週	児童家庭福祉の理念
第 5 週	児童家庭福祉の歴史的展開
第 6 週	児童家庭福祉の法制度
第 7 週	児童家庭福祉の実施体制
第 8 週	少子化と子育て支援サービス
第 9 週	児童の健全育成
第 10 週	母子保健サービス
第 11 週	保育について
第 12 週	ひとり親家庭の福祉
第 13 週	要保護児童施策と児童虐待の防止
第 14 週	児童家庭福祉の専門職
第 15 週	講義のまとめ
第 16 週	

備考